

世界史 授業 No.21 テーマQ.&A.プリント

1. 今日のテーマ・クエスチョン

ヒンドゥー教がグプタ朝時代に成立した理由とは？

2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書該当ページ（P. 38）の中から見つけよう！

4世紀にはいると（ 1 ）がおこり、第3代の王（ 2 ）のときに北インドの統一に成功した。この王朝のもとで、純インド的な（ 3 ）が成立するなど、インド古典文化が花ひらいた。現在もインドの主流の宗教である（ 4 ）は、（ 5 ）に民間信仰が融合して成立した宗教で、(1)の時代に人々に広まった。

また日常生活の規範や宗教的義務などを定めた『マヌ法典』や、インド文学を代表する長編叙事詩である『マハーバーラタ』と『ラーマーヤナ』もほぼ現在の形にまとめられた。グプタ朝の宮廷ではサンスクリット文学が栄え、詩人カーリダーサは『シャクンタラー』を書いた。天文学や文法学も発達し、十進法やゼロの概念もうみだされて、のちにイスラーム世界をへてヨーロッパにも伝わった。

<記入欄>

1 () 2 () 3 ()
4 () 5 ()

3. 今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T. Q. 「ヒンドゥー教がグプタ朝に成立した理由とは？」

T. A.

グプタ朝では前の〔① 〕朝とは違いインドの伝統に戻って再び〔② 〕教が重視された。そして民間で信仰されていたヴィシュヌ神や〔③ 〕神なども取り入れてヒンドゥー教が成立した（3代目で全盛の国王〔④ 〕の時）。その際に定着した〔⑤ 〕制度が今もインドに残っている。

<記入欄>

① [] ② [] ③ []
④ [] ⑤ []

[] 年 [] H No. [] 氏名 []